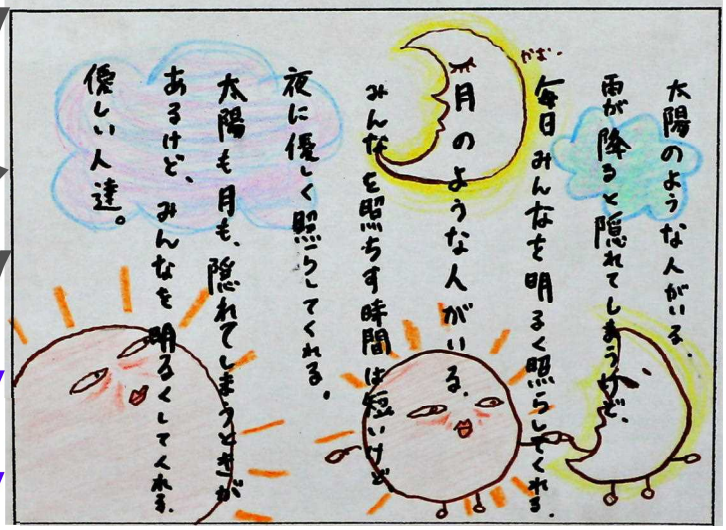
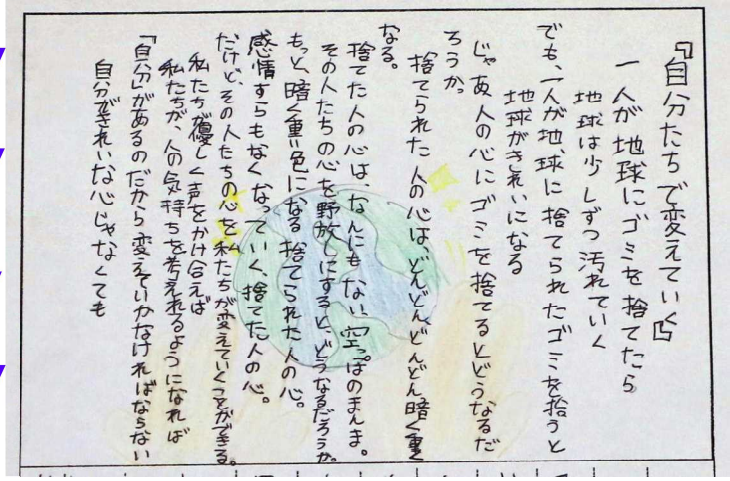
成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 37 号
R1. 5. 30

祝 金賞 五月表現大賞



【評】 3年 K・Mさんの作品。イラストがめだっていて、面白いので金賞になりました。太陽や月のように明るく照らしてくれる世界が私達の世界。優しい人は太陽であり、月でもあるという発想が心地よい。



『自分たちで変えていく』

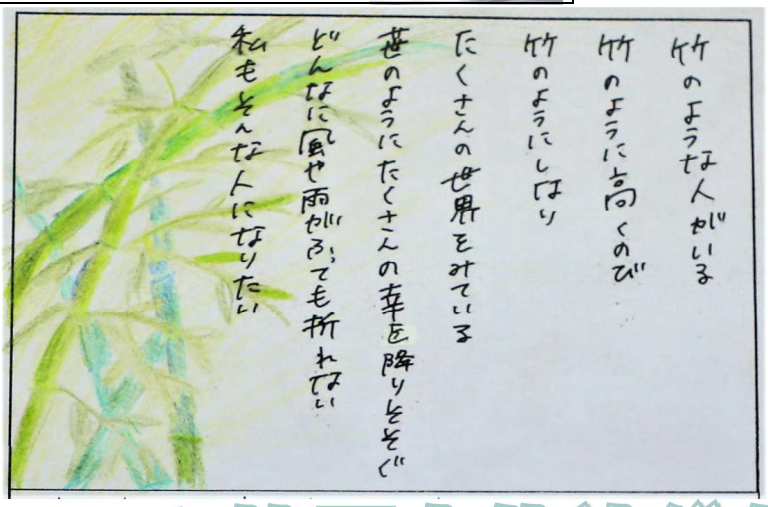
一人が地球にゴミを捨てたら
地球は少しずつ汚れていく
でも、一人が地球に捨てられたゴミを拾うと
地球がきれいになる
じゃ、人の心にゴミを捨てるとどうなるだろうか。
捨てられた人の心は、どんどんどんどん暗く重くなる。
捨てた人の心は、なんにもない空っぽのまんま。
その人たちの心を野放しにすると、どうなるだろうか。
もっと、暗く重い色になる。捨てられた人の心。
感情すらもなくなっていく、捨てた人の心。
だけど、その人たちの心を私たちが変えていくことができる。
私たちが優しく声をかけ合えば
私たちが、人の気持ちを考えれるようになれば
「自分」があるのだから変えていかなければならない
自分がきれいな心じゃなくても

【評】 2年 K・Yさんの作品。人の心にゴミを捨てるという発想が凄い。ゴミを捨てたら地球は汚れていく、心を捨てた人が空っぽなのは、優しい心を持てないから。地球も人の心も私たちが変えていくのだ。大丈夫。あなたはきれいな心の持ち主です。

【評】ご存じ、道徳「心の記録」の表紙。2年 K・Uさんの作品。人の心は白い雲。二つの雲をつないでいるのが虹。虹は7色の輝く橋。7色は、励まし、勇気、親切、助言、手伝い、協力などの心と心をつなぐ虹なのだろう。シンプルですが、とても印象に残る表紙なので、金賞。「心の記録」というキャッチコピーのセンスも光る。

新聞のような人
たくさんの情報をのせ
あらゆる場所へ伝え
物知りな人がいる
時には違った情報をのせ
周りの人に迷惑をかけるけど
一つの情報を伝えたくて
飛び回る
休みはないけれど
毎日の全国の活躍を期待している
今日も明日も各地に飛び回る
悲しいニュースで泣きたくなるけれど
うれしいニュースで元気になれる
どんなニュースが来るか
今日も楽しみに待っている

【評】 3年 A・Sさんの作品。新聞のような人の発想が良い。今や情報はグローバルであり、私達の生活にはなくてはならないものになりましたが、便利さの一方でフェイクニュースに躍らされる危険も。視野の広さを感じさせる作品で金賞です。



竹のような人がいる
竹のように高くのび
竹のようにしなり
たくさんの世界をみている
雀のようにたくさんの幸を降りそそぐ
どんなに風や雨がきても折れない
私もそんな人になりたい

【評】 3年 H・Rさんの作品。シンプルでリズミカルな調べが素晴らしい。言いたいことがまさに竹のようにまっすぐに伝わってきます。笹の音や竹のしなり具合も音と映像で広がっていきますね。イラストもバランスも良く描けています。

あさって 地区中体連総体！！！